

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)
日本・スペイン共同研究 事後評価結果

研究開発課題名	脳における CPT1 を標的とした薬物送達：肥満や癌と戦うための新しいナノ医薬品ベースのアプローチ
研究開発代表者	Quader Sabina
代表機関	川崎市産業振興財団

○評価委員会コメント

肥満への治療として、脳内ターゲットに作用し、摂食量と末梢代謝を調節するというアイデアはユニークであり、評価できる。また、本プロジェクトの成果である、肥満に対する薬剤として、C75-CoA にカチオン性を持たせて CPT1A 阻害剤であるミセルを作成し、ATP 合成を低下させるという結果を出しており、当初の研究計画は達成しているといえる。しかしながら、肝臓への副作用がみられるなど、現時点での実用化や臨床への応用は難しいと考えられる。

留学生の交換や若手交流の実現、共著論文の投稿も行われており、両国間の研究交流はなされているが、各自の具体的な役割も明記されておらず、スペインと共同研究をやる意義が評価委員会からは十分に読み取れなかった。本研究開発課題で得られた成果はがん治療に展開することが望まれる。